

Title	言語文化学 Vol.5 学会の活動/会則
Author(s)	
Citation	大阪大学言語文化学. 5 p.208-p.211
Issue Date	1996-03-31
oaire:version	VoR
URL	https://hdl.handle.net/11094/78126
rights	
Note	

Osaka University Knowledge Archive : OUKA

<https://ir.library.osaka-u.ac.jp/>

Osaka University

学会の活動

平成 7 年 5 月 25 日 言語文化学会第 8 回大会

〈研究発表会〉

山内真理: 『不定過去』としてのパーフェクト

大谷 明: 複合動詞句としての『する』構文

権 勝林: いわゆる再帰用法について

—再帰的意味実現の階層構造の分析—

〈総会〉

活動報告

委員改選

新委員:

金崎春幸 (委員長)・我田広之・坂内千里・藤田耕司

アレクサンドル＝ディボフスキー・岡本裕介・城野充

中村洋・松井理直・内山紀子・宇川絵理・水田洋子

吉川史子・黄愛玲

会則改正について

言語文化研究科および言語文化部関係者以外の会員を認めるための会則改正案が委員会によって提案されたが、本会発足の主旨からして熟考の余地ありとの意見が会員より出され、引き続き委員会で検討することになった。

会計報告(次頁の通り)

〈講演〉

田中 望教授 (大阪大学留学生センター):

メディア・スタディズの課題

〈懇親会〉

平成 7 年 10 月 12 日 言語文化学会第 9 回大会

〈研究発表会〉

中園 篤典: 敬語に見られる文化と常識

高木佐知子: 会話ストラテジーとしての frame シフト

宮西久美子: 国語ローマ字とラテン化新文字について

笠井 敏光: 文字研究の現状と課題

原田 祐司: 詩の朗唱について

平成 8 年 3 月 31 日 『大阪大学言語文化学』第 5 号刊行

〈査読者〉

井元秀剛・大谷泰照・大森文子・沖田知子・北村卓・木村健治

郡司隆男・小門典夫・坂内千里・仙葉豊・高岡幸一・瀧田恵巳

玉井俊紀・津久井定雄・中直一・成田一・西垣内泰介・春木仁孝

日野信行・深澤一幸・藤田耕司・三藤博・山下仁・由本陽子

我田広之・渡部眞一郎・渡邊伸治

《平成 6 年度会計報告》

収 入		支 出	
学会費(161 名分)	483,000	学会誌第 3 号印刷代	257,500
『言語文化学』売上	16,000	『言語文化学』第 3 号発送費	59,810
雑収入	1,381	交通費	4,920
利息	3,350	通信費	8,320
前年度繰越金	612,491	次年度繰越金	785,672
計	1,116,222	計	1,116,222

平成 6 年度会計委員 城野 充

中園篤典

会計監査(平成 7 年 5 月 23 日) 深澤一幸

安西記世子

大阪大学言語文化学会会則

第1条 本会は大阪大学言語文化学会と称する。

第2条 本会の会員は次の2種とする。

1. 通常会員 大阪大学言語文化研究科及び言語文化部の教官、大学院院生、大学院修了者で所定の会費を納めたもの。
2. 特別会員 元教官及び本会にとくに貢献したもの。

第3条 本会は会員の学術研究を促進するとともに、研究成果の普及をはかり、広く学術全般の進展に寄与することを目的とする。

第4条 本会は前条の目的を達するために研究会を開催し、機関誌を発行する。

第5条 本会の会員は機関誌の配布を受ける。

第6条 本会は第3条の目的を達するために年1回、言語文化学会総会を開催する。

第7条 本会に次の役員をおく。

1. 会長及び委員、監事をおく。
2. 会長を言語文化研究科長、副会長を言語文化部長とする。
3. 委員は原則として教官より5名、大学院院生より5名を選出する。なお別に事務担当をおくことができる。
4. 監事は2名とし、会計の監査にあたる。監事は会長が委嘱する。

第8条 本会に委員会をおく。

1. 委員会は前条3の委員をもって構成する。
2. 委員会に委員の互選による委員長、企画・編集委員（若干名）、会計委員（若干名）をおく。
3. 委員会は本会の運営にあたる。

第9条 役員の任期は次の通りとする。

1. 会長及び副会長の任期は言語文化研究科長及び言語文化部長の任期に従う。
2. 委員の任期は1年とする。
3. 監事の任期は1年とする。

第 10 条 本会の経費は会員の会費及びその他の収入による。

1. 会費は付則に定めるところによる。
2. 本会の会計年度は毎年 4 月より翌年 3 月までとする。

第 11 条 本会の事務局は大阪大学言語文化研究科内におく。

- 付則
1. 通常会員は会費として年間 3000 円を納める。
 2. この会則の改正は、総会において出席者の 3 分の 2 以上の賛同を必要とする。
 3. 本会則は平成 3 年 5 月 8 日より発効する。